



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3799 URL https://www.keyware.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)三田 昌弘
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画部長兼広報IR室長 (氏名)後根 桂二 (TEL)03(3290)1111
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	8,037	8.4	△83	—	△34	—	△39	—
30年3月期第2四半期	7,415	7.2	△69	—	△67	—	△70	—

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 △39百万円(—%) 30年3月期第2四半期 △73百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	△4.67	—
30年3月期第2四半期	△8.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	8,793	5,939	67.5
30年3月期	9,761	6,047	62.0

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 5,939百万円 30年3月期 6,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	1.5	300	△26.8	300	△35.5	200	△2.2	23.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	9,110,000株	30年3月期	9,110,000株
31年3月期2Q	607,643株	30年3月期	607,643株
31年3月期2Q	8,502,357株	30年3月期2Q	8,449,283株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成30年11月9日に機関投資家およびアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その模様および説明内容(音声)については、決算補足説明資料とともに、説明会開催後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用・所得環境の改善が続くなど、緩やかな回復基調にあったものの、米中貿易摩擦の激化による世界経済の下振れリスクが高まるなど、先行き不透明な状況が続きました。

当社が属する情報サービス産業につきましては、本年10月に経済産業省が発表した平成30年8月の特定サービス産業動態統計(確報)によれば、売上高合計は前年同月比1.2%増となったものの、売上高の半分を占める「受注ソフトウェア」は前年同月比1.2%減と前年を下回りました。

このような事業環境のもと、当社グループは、既存顧客からの大型請負案件を着実に獲得・遂行すべく、グループ各社やビジネスパートナー企業と連携し開発体制の構築に取り組むとともに、各種パッケージソリューションの活用やITコンサルティングを通じ、新規顧客の獲得に努めました。また、利益体質の強化に向けて、請負化の推進のほか、採算性を重視した受注活動に取り組みました。さらに、社員の成長やスキルアップに向けて、教育研修の充実をはかったほか、社員の働き方改革に向けた職場環境の整備に取り組みました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は8,750百万円(前年同期比94百万円増、1.1%増)、売上高は8,037百万円(同622百万円増、8.4%増)、営業損失は83百万円(前年同期は69百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は39百万円(前年同期は70百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① システム開発事業

受注高は5,725百万円(前年同期比142百万円減、2.4%減)、売上高は5,270百万円(同468百万円増、9.7%増)、営業損失は103百万円(前年同期は12百万円の利益)となりました。

受注高につきましては、運輸系において大型案件の受注があった前年同期に比べ減少となりました。売上高につきましては、官庁系の既存案件での増額に加え、運輸系では前期に受注した大型請負案件の売上が計上されたことなどにより、前年同期比で増加いたしました。損益面につきましては、不採算案件の発生に伴う受注損失引当金の計上などにより、損失計上となりました。

② S I 事業

受注高は1,954百万円(前年同期比388百万円増、24.8%増)、売上高は1,611百万円(同120百万円増、8.1%増)、営業利益は72百万円(同41百万円増、132.9%増)となりました。

受注・売上高につきましては、ERP系での新規案件の獲得、既存顧客からの受注増に加え、流通系での新規顧客からの案件獲得などにより、前年同期比で増加いたしました。損益面につきましては、売上高の増加に伴い、前年同期比で増加いたしました。

③ その他事業

受注高は1,071百万円(前年同期比151百万円減、12.4%減)、売上高は1,156百万円(同33百万円増、3.0%増)、営業利益は12百万円(前年同期は33百万円の損失)となりました。

受注高につきましては、大口のライセンス販売があった前年同期に比べ、減少となりました。売上高につきましては、サポートサービス系、EC/Web系、新事業などが堅調に推移し、前年同期比で増加いたしました。損益面につきましては、売上高の増加に加え、期初に行った組織改編により販売費の抑制に努めた結果、損失が解消され、利益計上となりました。

※ 期初に行った組織変更等に伴い、前連結会計年度まで「S I 事業」に所属していたプラットフォーム構築業務およびコンサルティング業務の一部を、それぞれ「システム開発事業」「その他事業」へ移管いたしました。これに伴い、各報告セグメントの前第2四半期連結累計期間の数値を当第2四半期連結累計期間の表示に合わせて組替再表示しており、前期比較につきましては、変更後の区分方法に組み替えたものによっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 流動資産

流動資産残高は、5,457百万円(前連結会計年度末比927百万円減、14.5%減)となりました。主な減少要因は、現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金の減少であります。

② 固定資産

固定資産残高は、3,336百万円(前連結会計年度末比39百万円減、1.2%減)となりました。主な減少要因は、ソフトウェアの減少であります。

③ 流動負債

流動負債残高は、2,314百万円(前連結会計年度末比747百万円減、24.4%減)となりました。主な減少要因は、短期借入金の減少、1年内返済予定の長期借入金の減少、未払法人税等の減少であります。

④ 固定負債

固定負債残高は、539百万円(前連結会計年度末比112百万円減、17.2%減)となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少であります。

⑤ 純資産

純資産残高は、5,939百万円(前連結会計年度末比107百万円減、1.8%減)となりました。主な減少要因は、利益剰余金の減少であります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、1,156百万円(前連結会計年度末比433百万円減、27.3%減)となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、税金等調整前四半期純損失の計上(18百万円)、たな卸資産の増加(302百万円)などがあったものの、売上債権の減少(815百万円)などにより、212百万円の増加(前年同四半期は259百万円の増加)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金は、投資有価証券の売却による収入(28百万円)などがあったものの、無形固定資産の取得による支出(65百万円)、投資有価証券の取得による支出(25百万円)などにより、67百万円の減少(前年同四半期は40百万円の減少)となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金は、短期借入金の純減(300百万円)、長期借入金の返済による支出(211百万円)などにより、579百万円の減少(前年同四半期は35百万円の減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において平成30年4月27日に公表いたしました内容から変更はありません。

なお、当社グループの事業特性として売上が第4四半期に集中する傾向があるため、第2四半期連結累計期間の売上高および損益は、通期の業績予想から相対的に低くなる傾向にあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,590,614	1,156,637
受取手形及び売掛金	4,611,594	3,796,185
商品及び製品	9,522	118,562
仕掛品	78,319	272,116
その他	98,425	116,805
貸倒引当金	△3,365	△3,071
流動資産合計	6,385,110	5,457,235
固定資産		
有形固定資産	106,403	99,621
無形固定資産		
のれん	213,092	202,437
その他	259,190	260,533
無形固定資産合計	472,282	462,971
投資その他の資産		
投資有価証券	2,613,798	2,600,115
その他	187,694	178,308
貸倒引当金	△4,284	△4,284
投資その他の資産合計	2,797,207	2,774,138
固定資産合計	3,375,893	3,336,731
資産合計	9,761,004	8,793,966

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	837,503	821,995
短期借入金	300,000	-
1年内返済予定の長期借入金	324,997	226,664
未払法人税等	142,706	37,095
賞与引当金	627,442	539,024
受注損失引当金	54,468	45,188
その他	775,428	644,910
流動負債合計	3,062,546	2,314,877
固定負債		
長期借入金	546,672	433,340
資産除去債務	104,596	105,574
その他	-	314
固定負債合計	651,268	539,229
負債合計	3,713,815	2,854,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	507,237	507,237
利益剰余金	3,925,226	3,817,498
自己株式	△159,243	△159,243
株主資本合計	6,010,457	5,902,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,574	38,441
退職給付に係る調整累計額	△2,842	△1,311
その他の包括利益累計額合計	36,732	37,130
純資産合計	6,047,189	5,939,859
負債純資産合計	9,761,004	8,793,966

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	7,415,503	8,037,714
売上原価	6,281,834	6,908,141
売上総利益	1,133,668	1,129,573
販売費及び一般管理費	1,203,318	1,213,078
営業損失(△)	△69,650	△83,505
営業外収益		
受取利息	32	10
受取配当金	1,207	1,440
持分法による投資利益	13,487	43,910
その他	17,070	13,192
営業外収益合計	31,797	58,554
営業外費用		
支払利息	6,011	2,829
支払手数料	22,555	6,313
その他	943	110
営業外費用合計	29,510	9,253
経常損失(△)	△67,362	△34,203
特別利益		
投資有価証券売却益	-	16,031
特別利益合計	-	16,031
税金等調整前四半期純損失(△)	△67,362	△18,171
法人税等	3,078	21,537
四半期純損失(△)	△70,440	△39,708
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△70,440	△39,708

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純損失(△)	△70,440	△39,708
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	502	195
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,819	203
その他の包括利益合計	△3,317	398
四半期包括利益	△73,758	△39,310
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△73,758	△39,310
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△67,362	△18,171
減価償却費	75,183	69,824
のれん償却額	19,507	10,654
受注損失引当金の増減額(△は減少)	-	△9,280
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,234	△293
受取利息及び受取配当金	△1,240	△1,451
支払利息	6,011	2,829
持分法による投資損益(△は益)	△13,487	△43,910
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△16,031
売上債権の増減額(△は増加)	608,559	815,409
たな卸資産の増減額(△は増加)	△384,497	△302,837
その他の資産の増減額(△は増加)	23,889	△8,548
仕入債務の増減額(△は減少)	△82,181	△15,507
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,230	△88,418
未払消費税等の増減額(△は減少)	△64,693	△69,556
その他の負債の増減額(△は減少)	122,441	△47,759
その他	△4,912	△212
小計	234,752	276,738
利息及び配当金の受取額	41,578	48,512
利息の支払額	△6,027	△2,820
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△11,012	△109,642
営業活動によるキャッシュ・フロー	259,292	212,788
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,620	△560
無形固定資産の取得による支出	△19,119	△65,935
投資有価証券の取得による支出	-	△25,000
投資有価証券の売却による収入	7,800	28,384
関係会社株式の取得による支出	△21,000	-
その他	△3,864	△4,416
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,803	△67,527
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300,000	△300,000
長期借入金の返済による支出	△349,364	△211,665
自己株式の売却による収入	56,127	-
配当金の支払額	△42,597	△67,572
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,833	△579,237
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	182,655	△433,976
現金及び現金同等物の期首残高	1,156,921	1,590,614
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,339,576	1,156,637

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への 売上高	4,801,976	1,490,747	1,122,780	7,415,503	—	7,415,503
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	378,738	360	150,236	529,334	△529,334	—
計	5,180,714	1,491,107	1,273,017	7,944,838	△529,334	7,415,503
セグメント利益 又は損失(△)	12,913	31,133	△33,242	10,804	△80,454	△69,650

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△80,454千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への 売上高	5,270,106	1,611,463	1,156,143	8,037,714	—	8,037,714
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	257,270	360	173,563	431,193	△431,193	—
計	5,527,376	1,611,823	1,329,707	8,468,907	△431,193	8,037,714
セグメント利益 又は損失(△)	△103,370	72,499	12,313	△18,557	△64,947	△83,505

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△64,947千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(報告セグメント変更等に関する事項)

期初に行った組織変更等に伴い、前連結会計年度まで「S I 事業」に所属していたプラットフォーム構築業務およびコンサルティング業務の一部を、それぞれ「システム開発事業」「その他事業」へ移管いたしました。これに伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、当第2四半期連結累計期間の表示に合わせて組替再表示しております。